

第37回

反核燃の日全国オンライン集会

4・9

日時

2022年4月9日(土)

14時～16時

場所

青森県労働福祉会館

大間原発

2028年度
運転開始予定?

下北半島の
原子力施設の
建設・運転を
中止させよう!!

2023年度
使用済燃料搬入?

● むつ使用済核燃料
中間貯蔵施設

運転再開見通せず!

● 東通原発

再処理工場
2023年度上期
操業開始?

MOX加工場
2024年度
操業開始?

● 六ヶ所核燃
サイクル施設

●新型コロナウイルス対策のため、事前の検温、参加時のマスク着用、体調管理をお願いします。●

みなさんも是非ご参加ください

主催: 第37回4・9反核燃の日全国集会実行委員会

原水爆禁止日本国民会議 原子力資料情報室

青森県反核実行委員会(青森県平和労組会議、自治労青森県本部、社民党青森県連合、フォーラム青森、原水禁青森県民会議)

核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団 核燃料廃棄物搬入阻止実行委員会

連絡先

青森市青柳1丁目3-14 青森県反核実行委員会

☎017-776-5665

第37回4・9反核燃の日全国オンライン集会

集 会 の 趣 旨

1985年4月9日に当時の北村知事が核燃サイクル3点セットの受け入れを決め、以来私たちは、「4・9反核燃の日全国集会」を開催し、抗議を続けてきました。現在ウラン濃縮工場は運転停止し、再処理工場は2023年を操業予定とし、低レベル放射性廃棄物埋設施設が原発のゴミを受入れ中です。

2011年の3・11東京電力福島原発事故から11年経ちますが、今なお、27,000人以上の県民が県外での避難生活を余儀なくされています。

一方トリチウム汚染水等は、漁業者などの反対で海に放出されずにいましたが、政府は2023年から海洋に放出することを決めました。総量は1月27日現在で129万立米、放射線量では約820兆ベクレルで、30年かけて海洋放出する計画となっています。

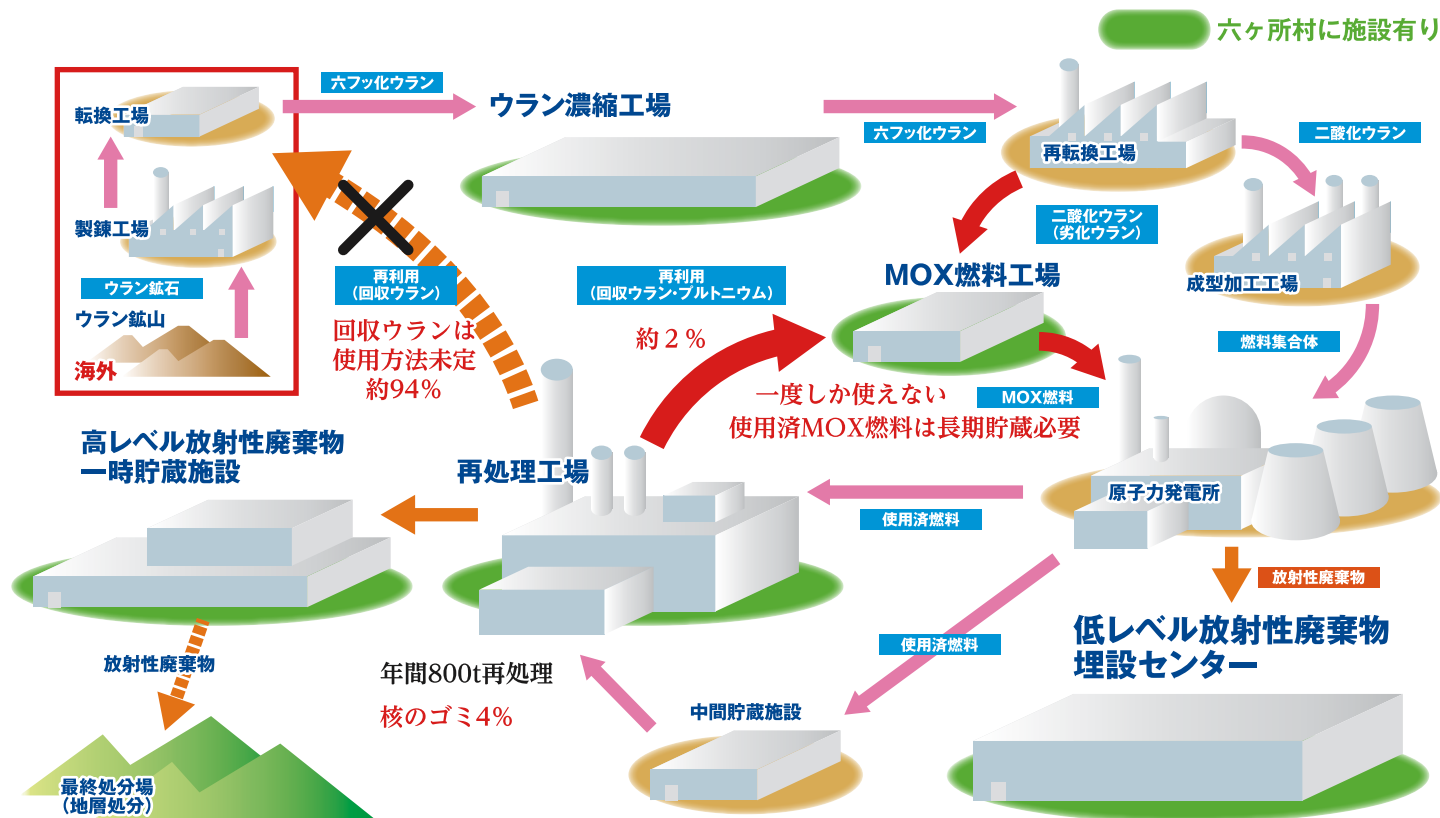
ところが、六ヶ所再処理工場ではトリチウム汚染水の海への放出が許可されており、日本全国原発が1年間で放出した最大値を、アクティブ試験中の1ヶ月間で超えたことがあります。このような再処理工場は操業すべきではなく、核燃サイクルはすぐにも止めさせる必要があります。

国は再処理して取り出したプルトニウムを大間町でのフルMOX原発で大量に消費するとして、青森県内での核燃サイクルを打ち出しています。だが、それが実用化される目途が立っていません。つまり、再処理する意味はありません。

だからこそ、六ヶ所村での再処理、むつ市でのリサイクル貯蔵、大間町でのフルMOX原発計画を止める必要があります。それが実現すれば、日本の脱原発が早まります。

世界は福島原発事故を教訓に、脱原発に舵を切りました。それなのに、日本政府が未だに原発の運転を望むのは時代遅れです。脱原発を確実なものにするために、「第37回4・9反核燃の日全国集会」に結集しましょう。

六ヶ所村の核燃サイクル施設は資源とお金の無駄遣い!!



参加申込について

(※新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、集会参加は県内在住者限定)
申込については、左記のQRコード、または所定の様式で以下のメールまで
E-mail: aomori.heiwarosokaigi@gmail.com



youtubeでライブ配信!

<https://youtu.be/YAL4dGGwK34>

※青森県外の方はこちらでご視聴願います。

カンパのお願い

□銀行振込/東北労働金庫 青森支店 普通 3991738
青森県反核実行委員会 実行委員長 今村 修
□郵便振替/02210-8-126675 反核燃の日全国集会実行委員会